



ファームウェア バージョン :	R4.10.B040	
ハードウェアバージョン :	DGS-1210-10P	C1
	DGS-1210-20	
	DGS-1210-28	
	DGS-1210-28P	
	DGS-1210-52	
発行日 :	2017/12/8	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード時の注意事項 :	2
アップグレード手順 :	2
追加機能 :	9
MIB の変更点 :	9
修正した問題点 :	9
既知の問題 :	10

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R4.10.B040	2017/12/8	DGS-1210-10P DGS-1210-20 DGS-1210-28 DGS-1210-28P DGS-1210-52	C1

アップグレード時の注意事項：

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

アップグレード手順：

ファームウェアアップグレードは、CLI（Telnet 経由）、WebGUI または D-Link Network Assistant から実行することができます。

CLI(Telnet 経由)を使用するアップグレード

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア（例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド）を使ってスイッチに接続します。
Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。
例：telnet 10.90.90.90
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められます。
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。
4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download{firmware_fromTFTP tftp://ip-address/filename cfg_fromTFTP tftp://ip-address/filename}	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
show switch	スイッチの現在のファームウェアバージョン及びブートコードバージョンを表示します。

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

(1) ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DGS-1210-28> download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DGS-1210-28-C1-4-10-B040.hex
```

```
Device will reboot after firmware upgraded successfully
```

※ ファームウェアのダウンロードが正常に完了すると、スイッチのアップグレードと再起動が行われます。再起動後、Telnet で再接続し、下記手順にてアップグレードが正常に完了していることを確認します。

(2) 再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

```
DGS-1210-28> show switch
```

System name	:
System Contact	:
System Location	:
System up time	: 0 days, 1 hrs, 6 min, 44 secs
System Time	: 01/01/2015 01:06:22
System hardware version	: C1
System firmware version	: 4.10.B040
System boot version	: 1.00.005
System serial number	: S3271DB000036
MAC Address	: 9C-D6-43-92-79-F4

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレス : 10.90.90.90
デフォルトのログインパスワード : admin
3. [Tools] メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。

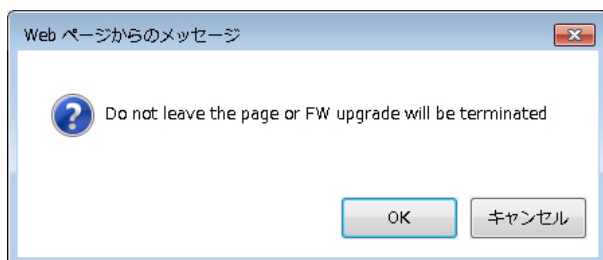
A screenshot of the 'Firmware Backup and Upgrade' web interface. The interface has a title bar with 'Firmware Backup and Upgrade' and a 'Safeguard' status indicator. It contains two main sections: 'HTTP' and 'TFTP'. The 'HTTP' section is selected with a radio button. It includes fields for 'Backup firmware to file' (with a 'Backup' button) and 'Upgrade firmware from file' (with a text input field, a '参照...' button, and an 'Upgrade' button). The 'TFTP' section is unselected. It includes fields for 'TFTP Server IP Address' (with a text input field and radio buttons for 'IPv4' and 'IPv6'), 'TFTP File Name' (with a text input field), 'Backup firmware to file' (with a 'Backup' button), and 'Upgrade firmware from file' (with an 'Upgrade' button').

HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) [HTTP]を選択します。
- (2) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



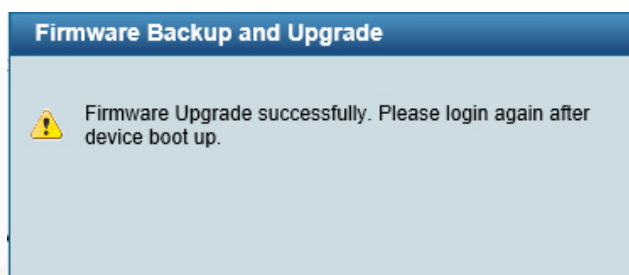
- (4) 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



- (5) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (6) ファームウェアアップグレードが完了すると、再起動が行われます。デバイスの再起動完了後に、再度ログインを行ってください。



- (7) [Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

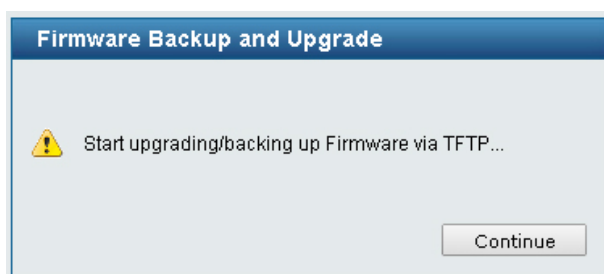
TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

- (1) [TFTP] を選択します。
- (2) [TFTP Server IP Address]に TFTP サーバの IP アドレス、[TFTP File Name]にファームウェアのファイル名を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- (4) 以下の画面が表示されるので、[Continue]ボタンをクリックします。



[Continue]ボタンをクリックすると、[Firmware Backup and Upgrade]画面に戻りますが、ファームウェアのアップグレードは継続されています。
アップグレードが終了すると、スイッチは自動的に再起動します。

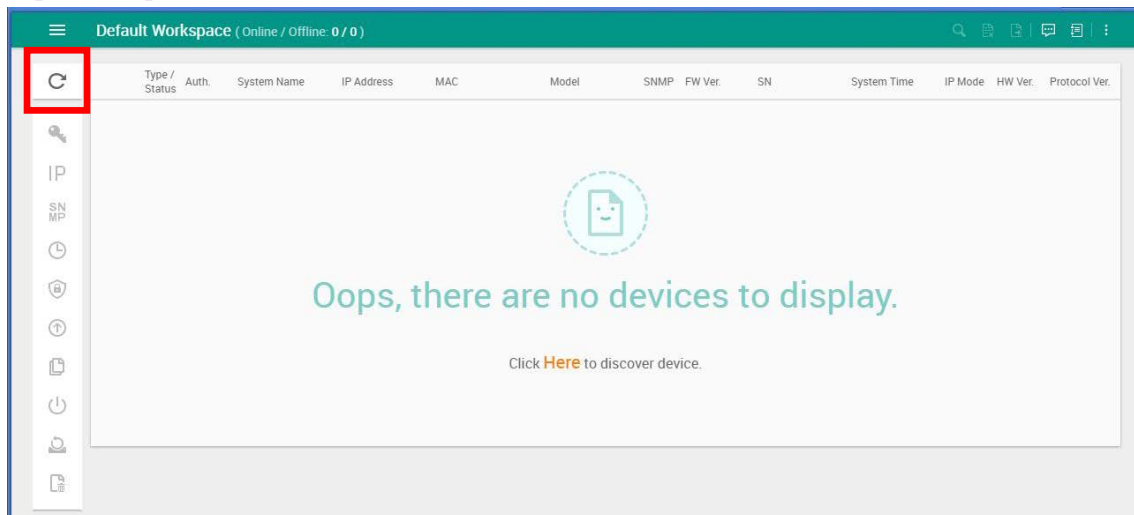
ファームウェアのアップグレードの経過を確認する際は、ご使用の TFTP サーバのログを確認し、アップグレードが終了したか否かを確認してください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

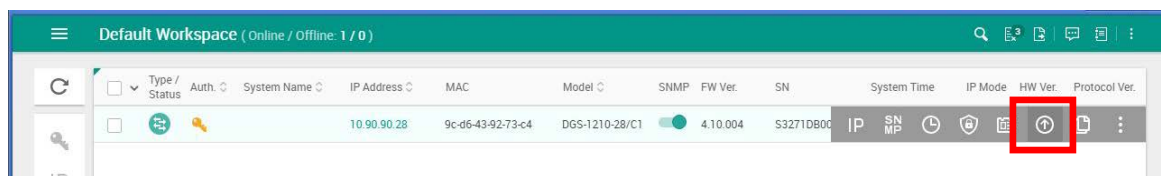
- (5) スwitchの再起動後に再度ログインし、Device Information 画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

D-Link Network Assistant を使用するアップグレード

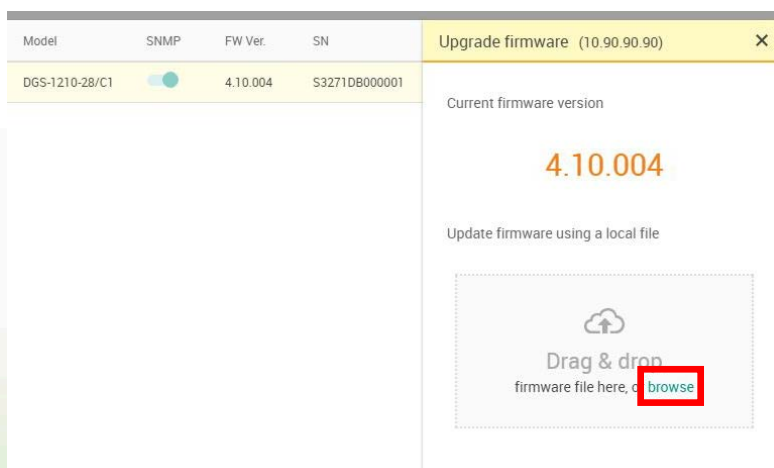
1. D-Link Network Assistant を起動します。
2. [Refresh] アイコンをクリックし、スイッチを検出します。



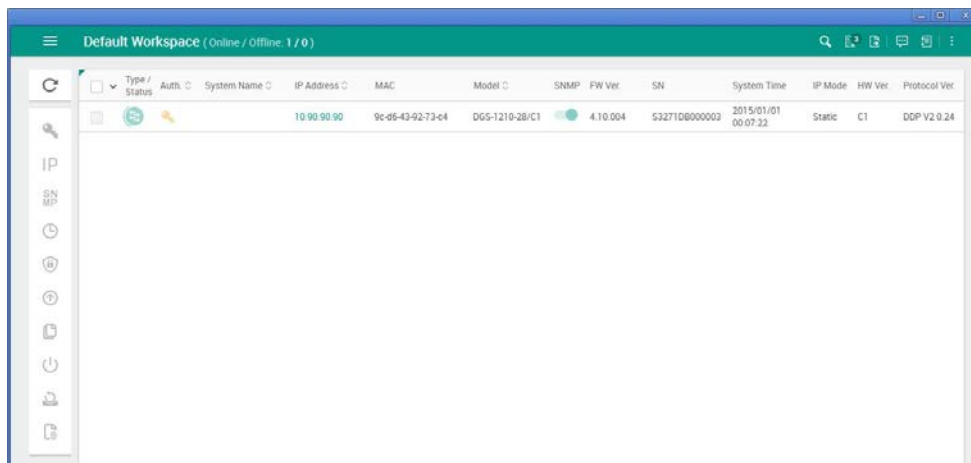
3. アップグレード対象のスイッチにカーソルを合わせ、[Upgrade firmware] アイコンをクリックします。



4. [Browse] をクリックしてファームウェアを選択 → [Upgrade now] をクリックします。



5. 画面が切り替わり、ファームウェアアップグレードが開始されます。



※アップグレード中は「Type / Status」欄のアイコンが処理中であることを示します。アップグレードが完了すると、画面右下に「Successfully upgraded the device firmware for (10.90.90.90).」というメッセージがポップアップ表示されます。

6. アップグレードが完了するとスイッチが再起動されます。スイッチの再起動後に [Refresh] アイコンをクリックし、デバイス情報の FW バージョンが更新されていることを確認します。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R4.10.B040	1. Port Settings に Capability Advertised 機能を追加致しました。(DGS-1210-10P)

MIBの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R4.10.B040	1. Capability Advertised オブジェクトを追加致しました。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R4.10.B040	<ol style="list-style-type: none"> DHCP retry Time の設定範囲を 5-120 に修正致しました。 HTTP で WebUI に接続した際のセキュリティを強化致しました。 特殊文字を含むパスワードを使用した場合、ログイン不可となる問題を修正致しました。 "Port Statistics"を確認しようとする、WEB GUI がログインタイムアウトになる問題を修正致しました。(DGS-1210-20/28/28P/52) ブラウザにおいて、ユーザ名とパスワードの自動保存が正しく行われない問題を修正致しました。 Kaspersky により WEB UI がブロックされる問題を修正致しました。 DNA を使用して IP 設定を行う際、32 ビットマスクの IP アドレスの設定を受け付ける問題を修正致しました。 MLD スヌーピングに"Reports to all ports"オプションを追加致しました。 VRRP IP に対して Ping を送信できない問題を修正致しました。 Port Description で設定した値が SNMP で正しく取得できない問題を修正致しました。 ACL に設定した VLAN ID が保存されない問題を修正致しました。 LLDP-MED の状態が正しく表示されない問題を修正致しました。(PoE モデルのみ) SNMP コミュニティ名で特殊文字"!"に対応致しました。 Daylight Saving Time を有効化している場合に、サマータイム終了時に正しく時刻が調整されない問題を修正致しました。 リンクアグリゲーショングループに対して正しく VLAN が設定できない問題を修正致しました。 システムログメッセージの"System started up"を、"System cold start" / "System warm start"というメッセージに変更致しました。 Blat Attack 項目のチェックボックスが表示されない問題を修正致しました。 DoS Prevention により NTP トラフィックがブロックされる問題を修正致しました。 PoE 有効化/無効化の設定変更が再起動後に保持されない問題を修正致しました。(PoE モデルのみ) SNMP Group の設定を削除できない問題を修正致しました。 Mac OS 10.12 において WEB UI に接続できない問題を修正致しました。 LACP 構成において、リンクダウン時にパスコスト値が正しく更新されない問題を修正

- 致しました。
23. 互換性のないファームウェアをダウンロードできてしまう問題を修正致しました。
 24. 短時間にポートのリンクダウン/リンクアップを行った場合に、メモリーリークにより予期せぬ再起動またはフリーズが発生することがある問題を修正致しました。
 25. 初期設定構成において、ISIS の通信がフィルタされる問題を修正致しました。
 26. IGMP パケット受信時に CPU 使用率が高くなり、Telnet 接続と WEB UI 接続において、通信が遅くなることがある問題を修正致しました。
 27. DHCP で IP を取得している IP 電話が VoiceVLAN のエントリから消えることがある問題を修正致しました。
 28. 特殊な構成を組むことで、ネットワークが不安定になる問題を修正致しました。
 29. RADIUS 認証キーに特定の記号が含まれている場合、エラーが発生する問題を修正致しました。
 30. ファームアップに失敗することがある問題を修正致しました。
注：ファームアップ後の再起動後に応答がない場合は、再度電源を抜き差ししてください。
まだ復旧しない場合は、DNA2.0.2.4 をインストールした PC を対象の DGS-1210 に直接接続し、DNA2.0.2.4 で検出後、DNA から再度ファームアップグレードを行ってください。（この際、対象の DGS-1210 の IP アドレスはデフォルト IP 10.90.90.90 になります。）
 31. 日本語 WebUI でいくつかの文言を修正致しました。
 32. Voice VLAN List に音声デバイスが表示されない問題を修正致しました。
 33. Reboot System 画面において、再起動前にコンフィグの保存を確認するメッセージを表示するように修正致しました。
 34. TCP 排他制御に関する問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題点
R4.10.B040	特になし

Copyright 2006-2017 D-Link Japan K.K.